

各 位

会 社 名 JALCO ホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 田辺 順一  
(JASDAQ・コード6625)  
問合せ先  
役 職・氏 名 取締役管理本部長 大浦 隆文  
電 話 050-5536-9824

(再訂正) 「平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部再訂正について

平成26年6月12日付で公表いたしました(訂正)「平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載内容の一部に誤りがございましたので、下記のとおり訂正いたします。

なお、平成26年6月30日付で関東財務局へ提出しております、有価証券報告書及び四半期報告書の訂正報告書には、訂正はございません。

訂正箇所には下線\_\_ を付して表示しております。

## 記

### 1. 【訂正理由】

当社の子会社である株式会社ジャルコアミュージックサービスが、平成24年1月から開始した中古遊技機割賦販売事業において取引先による不正が発覚したために、取引開始から発覚までに行った取引の会計処理を取消しました。

当初は、セグメント名は変更せずに訂正決算短信をご提出しましたが、以上のことを鑑み、会計処理の実態に合わせるためにセグメントの名称を「遊技機レンタル・割賦販売事業」から「遊技機レンタル事業」に変更することが必要であるとの判断から名称変更をしたことに伴い、関連する箇所を訂正するものであります。

### 2. 【訂正箇所】

#### 1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

#### 4. 四半期連結財務諸表

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

II

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

1. 当四半期決算に関する定性的情報

<訂正前>

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

(省略)

このような事業環境の下、当社連結子会社である株式会社ジャルコ（以下、「ジャルコ」といいます。）が営む電子機器用部品事業におきましては、製造部門を第三者に譲渡することにより、当該事業における製造経費に関するリスクを排除するとともに、AV家電及びその他デジタル家電におけるハイスペックな電子部品の開発、販売活動などに特化することが、収益性改善を図るための最良の方法と判断し、平成 24 年 9 月 28 日をもって、東北タツミ株式会社に当該事業の一部譲渡を完了いたしました。電子機器用部品事業におきましては、上記ハイスペックな電子部品の開発、販売活動に加えて、当社連結子会社である株式会社ジャルコアミューズメントサービス（以下、「JAS」といいます。）が営む遊技機レンタル・割賦販売事業に関連する、パチンコホール向けのアミューズメント機器以外の設備販売・設置案件について、当第 4 四半期における売上実現に向けて準備を進めております。一方で、遊技機レンタル・割賦販売事業におきましては、当第 2 四半期において、パチンコホールを対象とした中古遊技機のレンタルを開始するなど、当社を通しての当該事業に対する資金投下、取引形態の多様化も順調に推移しております。

セグメントにつきましては、当社グループの事業は、平成 24 年 1 月に遊技機レンタル・割賦販売事業を新たに開始し、従来の電子機器用部品事業に加え 2 業態となりました。

(省略)

従いまして、当連結会計年度より、報告セグメントを、「電子機器用部品事業」、「遊技機レンタル・割賦販売事業」の 2 つの事業の種類別セグメントといたします。

セグメント別の状況は、以下のとおりであります。

(省略)

・遊技機レンタル・割賦販売事業

遊技機レンタル・割賦販売事業におきましては、販売会社を対象とした中古遊技機の販売を中心に事業を運営しておりますが、当第 2 四半期において、パチンコホールを対象とした中古遊技機のレンタルを開始するなど取引形態の多様化を図るとともに、取扱高、事業規模の拡大に取り組んでおります。当第 3 四半期連結累計期間における業績は、売上高 1 億 26 百万円、セグメント利益 17 百万円となりました。

<訂正後>

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

(省略)

このような事業環境の下、当社連結子会社である株式会社ジャルコ（以下、「ジャルコ」といいます。）が営む電子機器用部品事業におきましては、製造部門を第三者に譲渡することにより、当該事業における製造経費に関するリスクを排除するとともに、AV家電及びその他デジタル家電におけるハイスペックな電子部品の開発、販売活動などに特化することが、収益性改善を図るための最良の方法と判断し、平成 24 年 9 月 28 日をもって、東北タツミ株式会社に当該事業の一部譲渡を完了いたしました。電子機器用部品事業におきましては、上記ハイスペックな電子部品の開発、販売活動に加えて、当社連結子会社である株式会社ジャルコアミューズメントサービス（以下、「JAS」といいます。）が営む遊技機レンタル事業に関連する、パチンコホール向けのアミューズメント機器以外の設備販売・設置案件について、当第 4 四半期における売上実現に向けて準備を進めております。一方で、遊技機レンタル事業におきましては、当第 2 四半期において、パチンコホールを対象とした中古遊技機のレンタルを開始するなど、当社を通しての当該事業に対する資金投下、取引形態の多様化も順調に推移しております。

セグメントにつきましては、当社グループの事業は、平成 24 年 1 月に遊技機レンタル事業を新たに開始することを決定し、従来の電子部品製造製事業に加え 2 業態となりました。

(省略)

従いまして、当連結会計年度より、報告セグメントを、「電子機器用部品事業」、「遊技機レンタル事業」の 2 つの事業の種類別セグメントといたします。

セグメント別の状況は、以下のとおりであります。

(省略)

・遊技機レンタル事業

遊技機レンタル事業におきましては、当第 2 四半期において、パチンコホールを対象とした中古遊技機のレンタルを開始するなど事業規模の拡大に取り組んでおります。当第 3 四半期連結累計期間における業績は、売上高 1 億 26 百万円、セグメント利益 17 百万円となりました。

<訂正前>

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産残高は9億20百万円となり、前連結会計年度末と比較して75百万円の増加となりました。これは主に事業譲渡に伴い棚卸資産が減少した反面、収益事業である遊技機レンタル・割賦販売事業において取扱いのための仮払金がそれ以上に増加したことなどによるものであります。

<訂正後>

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産残高は9億20百万円となり、前連結会計年度末と比較して75百万円の増加となりました。これは主に事業譲渡に伴い棚卸資産が減少した反面、仮払金がそれ以上に増加したことなどによるものであります。

## 4. 四半期連結財務諸表

&lt;訂正前&gt;

## (5) セグメント情報等

(セグメント情報)

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結 損益計算書 計上額
	電子機器用 部品事業	遊技機レンタル・ 割賦販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,574,426	—	1,574,426	—	1,574,426
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,574,426	—	1,574,426	—	1,574,426
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△361,616	—	△361,616	△33,673	△395,289

(省略)

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結 損益計算書 計上額
	電子機器用 部品事業	遊技機レンタル・ 割賦販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	488,206	126,262	614,468	—	614,468
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	488,206	126,262	614,468	—	614,468
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△131,504	17,344	△114,159	△111,884	△226,044

(省略)

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間から、遊技機レンタル・割賦販売事業の取り扱い高が増加したことに伴って、経営管理の実態を適正に表示するため、従来の所在地別セグメントに変えて事業別セグメントを報告セグメントとして変更しております。

その結果、当連結会計年度より、「電子機器用部品事業」、「遊技機レンタル・割賦販売事業」の2つを報告セグメントといたしました。

(省略)

各報告セグメントの事業内容は次のとおりであります。

事業区分 (省略)	事業内容 (省略)	会社名 (省略)
遊技機レンタル・割賦販売事業	主に、パチンコ・パチスロ機器のレンタル・割賦販売を行うとともに、取引対象先ホールの格付や中古遊技台の真正価値の調査を行っております。	株式会社ジャルコアミュージメントサービス

<訂正後>

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額
	電子機器用部品事業	遊技機レンタル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,574,426	—	1,574,426	—	1,574,426
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,574,426	—	1,574,426	—	1,574,426
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△361,616	—	△361,616	△33,673	△395,289

(省略)

II 当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額
	電子機器用部品事業	遊技機レンタル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	488,206	126,262	614,468	—	614,468
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	488,206	126,262	614,468	—	614,468
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△131,504	17,344	△114,159	△111,884	△226,044

(省略)

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

平成24年1月に遊技機レンタル事業を新たに開始することを決定いたしました。それに伴い、当第1四半期連結会計期間から、経営管理の実態を適正に表示するため、従来の所在地別セグメントに変えて事業別セグメントを報告セグメントとして変更しております。

その結果、当連結会計年度より、「電子機器用部品事業」、「遊技機レンタル事業」の2つを報告セグメントといたしました。

(省略)

各報告セグメントの事業内容は次のとおりであります。

事業区分	事業内容	会社名
(省略)	(省略)	(省略)
<u>遊技機レンタル事業</u>	<u>主に、パチンコ・パチスロ機器のレンタルを行うとともに、取引対象先ホールの格付や中古遊技台の真正価値の調査を行っております。</u>	株式会社ジャルコアミュージメントサービス